

③	②	①
<p>しるし</p> <p>こまったときに たすかる</p>	<p>つめるのにつかわれた</p> <p>こわれないよう、 すき間に</p>	<p>ウ</p> <p>はこのにもつが</p>

「かいせつ」

(1) 「白いつめ草」という名前がつけられたのは、はこのにもつがこわれないよう、すき間につめるのにつかわれたからなので、「ですから」が答えになります。

(2) 文しょうの『シロツメクサ』は、むかしは外国からどうぐを買ってもってくるときに、はこのにもつがこわれないよう、すき間につめるのにつかわれた」というぶぶんに書かれています。

(3) 文しょうの「七つばは、こまったときにたすかるしるしだと言われています」というぶぶんに書かれています。

③	②	①
<p>で子ねこをかうことにした</p> <p>つれて帰って、自分のへや</p> <p>こっそり子ねこを</p>	<p>元気がない（声）</p>	<p>子ねこをつれて帰りたい</p> <p>けれど、うちはマンションなので、</p> <p>ペットはかえないと</p> <p>おかあさんに言われているから</p>

「かいせつ」

文しょうのつぎの場しょに書かれています。

わたしは、その場でじっと立ち止まってこまってしまいました。子ねこをつれて帰りたいけれど、^①うちはマンションなので、ペットはかえないと
 おかあさんに言われているのです。ダンボールの中の子ねこは、さむさにふるえていました。小さくてまっ白な子ねこは、おなががすいているみた
 いで、

「みゃー。」

^②と元気がない声でなきました。

その声に、わたしはかくごをきめました。^③こっそり子ねこをつれて帰って、自分のへやで子ねこをかうことにしたのです。

③	②	①
シ	はこのにもつが こわれないよう、 すき間に つめるのにつかわれた	よい地いが手に入れられる (しるし)
ロ		
ツ		
メ		
ク		
サ		

「かいせつ」

(1) 文しょうの「六つばはよい地いが手に入れられるしるし」というぶぶんに書かれています。

(2) 文しょうの『シロツメクサ』は、むかしは外国からどろぐを買ってもってくるときに、はこのにもつがこわれないよう、すき間につめるのにつかわれた」というぶぶんに書かれています。

(3) 「白いつめ草」という名前がつけられているのは、クローバーとシロツメクサですが、六字なのでシロツメクサにします。

③	②	①
こっそり子ねこを つれて帰って、自分のへや で子ねこをかうことにした	ウ	おうちにつれて行って

「かいせつ」

(1) 文しょうの「わたしには『おうちにつれて行って』と言っているように聞こえます」というぶんには、書かれています。

(2) 「しばらくまよったわたしは、かくごをきめました」というところから、わたしがこまっていたことがわかります。

(3) 文しょうの「こっそり子ねこをつれて帰って、自分のへやで子ねこをかうことにしたのです」というぶんには書かれています。



③	②	①
ア	<p>かけっこで一番になって、おとうさんにかっこいいところを見せようと思っていたのに、朝<small>ア</small>になって、おとうさんがきゅうなし<small>イ</small>ごとでうんどう会に行けなくなったと言<small>エ</small>い出したから</p>	イ

「かいせつ」

〔1〕ぼくはうんどう会のためにたくさんれんしゅうをして、かけっこで一番になるとはりきっていたので、イが答えになります。

〔2〕文しょうの「かけっこで一番になって、おとうさんにかっこいいところを見せようと思っていたのだ。それなのに朝になって、おとうさんがきゅうなしごとでうんどう会に行けなくなったと言イい出した。ぼくは、あんなにワクワクしていた気もちが、きゅうになくなっエてしまった」というところから、わかります。

〔3〕□のあとに「おとうさんのためにも一番になるしかないな」と思っているので、おとうさんのおうえんがうれしかったとわかります。



③	②	①
イ	ア	<p>かけっこで一番になって、 おとうさんにかっこいいところ を見せようと思っていたから</p>

「かいせつ」

(1) 文しょうの「かけっこで一番になって、おとうさんにかっこいいところを見せようと思っていたのだ」というぶぶんに書かれています。

(2) 「ぼくは、ワクワクしていた気もちがきゅうになくなってしまった」というところから、やる気がなくなっていることがわかります。

(2) 「やっぱりおとうさんは来てくれたんだ。ぼくは、とびあがるような気もちでスタートダッシュをした」というところから、おとうさんの声を聞いてよろこんでいることがわかります。

